



平成23年1月26日

柴田町長 滝口 茂 様

柴田町総合計画審議会

会長 長田 達雄

第5次柴田町総合計画基本構想（案）及び前期基本計画（案）について（答申）

平成23年1月13日付け柴ま政第597号で諮問された第5次柴田町総合計画基本構想（案）及び前期基本計画（案）について、当審議会で集中的かつ慎重に審議した結果、その内容はおおむね妥当なものであると認めます。

柴田町が真に持続可能な地域となっていくためには、総合計画の実践的な推進体制が大切です。基本構想（案）に掲げられた、まちの将来像「みんなで育てる 笑顔輝く 元気なまち」を実現するため、財政の中長期的な見通しを踏まえ、財政的な裏付けの下に、具体的な実施計画を策定しながら、着実に計画を実行されますことを求めます。

なお、まちづくりの主役である町民の求めるニーズを的確に把握し、対応されますことを要望いたします。

さらに、当審議会において委員から出された意見・要望等を別紙のとおりまとめましたので、これらについても十分に考慮した上、今後の町政運営や施策の推進に当たられますことを要望いたします。

## 別紙

### (計画の推進)

- ・総合計画に掲げられた内容は、事業の優先順位を考慮し、財政の裏付けにより調整した上で、着実に推進されるように努めていただきたい。
- ・総合計画を実現するため、重大性、拡大性、緊急性や投資対効果について評価を行い、PDCAサイクルを確立して、推進に努めていただきたい。

### (住民参加・協働)

- ・住民参加については、今後も重点的に取り組み、参加の方法を更に充実するなど、参加しやすい環境づくりに努めていただきたい。
- ・町民の協働への思いを受け止め、協力してもらうための体制づくりや町民が参加していくための環境づくりに努めていただきたい。
- ・町民等への分かりやすい情報の提供に努めていただきたい。

### (花のまち)

- ・白石川堤と船岡城址公園の回遊ルートである「跨線橋」は、必要性を考慮し、慎重に進めていただきたい。
- ・花のまち柴田を推進するに当たっては、投資対効果など、十分な検討をしていただきたい。
- ・昔からの町の大切な財産である桜は、十分な保護、育成に努めていただきたい。

### (産業)

- ・商工業は、大変厳しく深刻な状況にあるため、工業団地や企業誘致活動など、産業が活性化するように取り組んでいただきたい。
- ・観光については、通年で人を呼び込めるような仕組みづくりに努めていただきたい。
- ・県内の観光地と連携し、アジア圏からの観光客も視野に入れて、町に経済効果を生み出せるように取り組んでいただきたい。
- ・農業振興については、事業の充実を図り、その実行に努めていただきたい。
- ・農村と都市の役割を踏まえ、農村の多面的な機能を生かした施策を推進していただきたい。
- ・農村の共同体組織や定年退職者をまちづくりに有効に生かしていただきたい。
- ・ハイキングコースを活用した観光ルートを考慮していただきたい。

### (青少年)

- ・夢と希望と志を持ち、ふるさとに誇りと愛着を持つ青少年の具体的な育成に努めていただきたい。

- ・青少年の世代が、町の事業に広く参加できるような方策を検討していただきたい。

(スポーツ)

- ・スポーツ宣言都市にふさわしいような、スポーツ施設の更なる充実に努めていただきたい。

(地域間交流・国際交流)

- ・姉妹都市丹陽市との交流は、更に深め、充実させるように努めていただきたい。

(福祉)

- ・医療費を抑えるような施策の充実に努めていただきたい。
- ・人とお金が集まるようなまちづくりが必要であり、高齢者福祉を充実し、柴田町に住むと健康で長生きできるとなれば、人は集まり、経済も活性化するので、地元大学等と連携し、町全体で高齢者の健康づくりを推進するように取り組んでいただきたい。

(広域行政)

- ・新たな連携の在り方を検討し、様々な分野での連携の推進に努めていただきたい。